

留学報告書



留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名	英文：Edmonds college 和文：エドモンズ大学
留学期間	2022年9月～2023年3月
留学を開始した時の学年	2年生

留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	120万円
宿舍費（1か月あたり）	15万円
食費（1か月あたり）	5万円
通学費（1か月あたり）	0万円
教科書代	8万円
渡航旅費	27万円
保険料	9万円
その他（ ）	0万円

滞在形態関連

1) 種類
<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> ルームシェア
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋
3) 設備
<input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> お風呂（浴槽） <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> エアコン <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> ランドリー <input checked="" type="checkbox"/> インターネット環境 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> Studying Room <input checked="" type="checkbox"/> 宅配ボックス <input type="checkbox"/> その他（ ）
4) 住居を探した方法
<input type="checkbox"/> 海外留学先大学の指定 <input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学のホームページ <input type="checkbox"/> 留学経験者に聞いて <input type="checkbox"/> 個人的に探した <input type="checkbox"/> その他（ ）

5) 大学までの利用交通機関と通学時間（片道）
利用交通機関： <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他（ ）
通学時間（片道）： 5分

現地情報
1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> わからない
2) 現地で病院にかかったことはありますか？
<input type="checkbox"/> はい（利用機関名： ） <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ 「はい」の場合予防接種の種類：
5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？
<input type="checkbox"/> 留学先の友人 <input checked="" type="checkbox"/> 日本にいる友人や家族 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学の先生 <input type="checkbox"/> 海外留学先大学のカウンセラー <input checked="" type="checkbox"/> 海外留学先大学の留学担当窓口 <input type="checkbox"/> ホストファミリーや RA（レジデンスアシスタント） <input type="checkbox"/> その他（ ）
6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
寮の周辺は非常に良好。ただ、シアトルダウンタウンは治安があまり良くないため、一人では出掛けないことが望ましい。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
大学内のインターネット環境は良好。寮の Wi-Fi はつながりにくい時があった。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
主にデビットカードを使用。現地の銀行口座は開設していない。ただ、場所によってはカードが使えない店もあるため、複数枚カードを持参するか、現金をある程度両替していくことをおすすめする。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていきべき物がありますか？
アメリカの物価は非常に高い。しかし、宇和島屋やアジアマーケットがいくつかあるため、日本のものを入手することは可能。また、学校にフードパントリーがあるため、ある程度の食料をもらうことができました。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
<input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> 口座振込 <input type="checkbox"/> その他（ ）
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。
特になし。

渡航について	
1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？	
<input type="checkbox"/> 留学先大学のピックアップサービス <input type="checkbox"/> 公共交通機関（バスや電車） <input type="checkbox"/> ホストファミリーのお迎え <input type="checkbox"/> その他（ ）	
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？	
<input checked="" type="checkbox"/> はい（期間：3日間） <input type="checkbox"/> いいえ	

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
履修した授業科目名	
Introduction to Business	
授業内容や試験、授業を受けた感想について	
<p>ビジネス、経済学、マーケティングにおいて基礎知識を学ぶ。課題の量が多いが、文章を書かされるものではなく、クイズ形式で教科書の内容を復習できるものであるため、楽単。難易度も比較的容易。授業は講義形式であるため、あまりディスカッションの場は設けられていない。</p>	

履修した授業科目名	
Interpersonal Communication	
授業内容や試験、授業を受けた感想について	
<p>対人関係のコミュニケーションにおいて、必要な要素を学ぶ。</p> <p>Human Relationship in Organization の授業と内容が似ている。授業内に活発的な議論が要求されるため、難易度は高い。一学期に4回、ディスカッションの場が設けられ、2回程度のレポートの提出がある。授業の難易度は高いが、先生が親身になって相談に乗ってくれるため、スピーキング力をつけたい人にとってはおすすめである。</p>	

履修した授業科目名	
Tours	
授業内容や試験、授業を受けた感想について	
<p>ツアーの比較や価格設定、お客様のニーズに合ったツアーの提案の仕方などを学ぶ授業。授業の難易度は比較的容易。学期末に一回、自分でツアーのプランを考え、10分程度のプレゼンテーションがある。講義形式で、基本的にはワークシートが授業内課題としてある。</p>	

履修した授業科目名	
Social Psychology	

授業内容や試験、授業を受けた感想について

人間の社会的な行動分析について、実験事例を基に得た結果から学ぶ授業。授業の難易度は普通だが、一学期間に 2 回対面でのテストが課される。テスト内容は記述式も含まれるため、難易度が高い。でも、先生がとっても優しいので、質問にはいきやすい。

履修した授業科目名

Intercultural Communication

授業内容や試験、授業を受けた感想について

様々な国の異文化間における違いを共有する授業。ネイティブよりもインターナショナルの学生の方が多い印象で、難易度としては難しくない。毎週オンラインでの小テストと 2 週間に 1 回のディスカッション課題が課されるが、楽単。インターナショナルの学生の友人もでき、異文化理解を深めることもできるため、非常に楽しい授業だと思う。

履修した授業科目名

English Composition I

授業内容や試験、授業を受けた感想について

英語の基礎的なライティングの授業。国際日本学部の、2 年の春学期に受講した Research Paper Writing の授業とほぼ同内容。1 学期間に 3 回、指定された文献を読み、1000 字程度のエッセイを書くことが課された。ネイティブよりもインターナショナルの学生の方が多い印象で、難易度としては難しくない。ただ、3 回のエッセイが成績の比重として重く、エッセイの内容をしっかりと評価されるため、課題に時間をかける必要がある。

履修した授業科目名

Human Relations in Organization

授業内容や試験、授業を受けた感想について

企業や組織の中での対人関係における、リーダーシップや対人スキルを最大限発揮するための方法論を学ぶ授業。課題の量が多いが、文章を書かされるものではなく、クイズ形式で教科書の内容を復習できるものであるため、楽単。ネイティブよりもインターナショナルの学生の方が多い印象で、難易度としては難しくない。授業は講義形式よりも、グループワークなどの学生同士の交流が重視される。毎週自分の行動分析に関するアンケートに答え、オンラインでディスカッションに投稿するため、普段の自分の対人関係を振り返る機会にもなる。

履修した授業科目名

American Government

授業内容や試験、授業を受けた感想について

アメリカの政治、思想、制度、公共政策について学ぶ授業。インターナショナルの学生よりも、ネイティブの学生が多い印象で難易度も高いため、あまりおすすめはできない。毎回の授業でテーマに関する政治的内容の議論と、一学期間に2回、グループでのプレゼンテーションが課された。専門的用語がたくさん出てくるため、授業前の教科書での予習にかなり時間がとられる。

留学体験記

留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由	<p>私は、楽天的な社内公用語を英語と定めた、ダイバーシティを推進する日本企業や海外を拠点とするグローバル企業に就職したいという目的から、現状、自分自身の英語力が海外でどの程度通用するのか確かめるため、就職活動に影響が及びにくい大学2年の秋から留学することを決断した。また、内気な性格で自分と異なるタイプ人と壁を作り交流を避けてしまう自分にとって、留学を通して様々な価値観を持った人と関わることによって、自分の殻を破るきっかけになるのではないかと考えた。また、私がエドモンズ大学を選択した理由は、複数の大学の留学報告書を読み比べた結果、エドモンズ大学はネイティブ以外にインターナショナルの学生の在籍率が高く、留学前の自分自身の英語力に適していると思ったためである。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>私は TOEFL のスコアで学内選考の最低基準を満たすことができなかつたため、大学間協定留学に出願することができず、国際日本学部のアカデミック留学においても出願できる大学がかなり限られてしまった。留学をするには TOEFL のスコアが61点は最低でも必要になってくるため、サークルやバイトの時間の合間を利用して、TOEFL の勉強をしておけばよかったと思う。具体的には、TOEFL は TOEIC や英検と異なり出版されている参考書の数に限りがあるため、アプリを利用した反復学習が効果的だと思う。</p>
留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等	<p>留学中に教科書以外の書籍などは、特に使用していない。ただ、冬学期の授業を履修するにあたって、Rate my professor というサイトで現地の学生の口コミによる評価を参考にできたのは、非常に役立ったと感じている。</p>
大学・学生の雰囲気 (職場や同僚の雰囲気)	<p>エドモンズ大学はユニバーシティではなく、コミュニティカレッジであるため、自分よりも年下の学生が多い印象を受けた。多くの学生がユニバーシティにトランスファーをするために GPA を意識して授業を受けているため、日本の大学生よりも勉強に対するモチベーションが高く、とても刺激を受けた。ただ、ネイティブよりもインターナショナルの学生が多いためか、生活する中で英語以外の言語でコミュニケーションをとる機会が多く見受けられ、同じ国籍の人同士で行動している学生が多かった。</p>

滞在先の雰囲気	私の部屋は3人部屋だったが、共同で使うのはキッチン、リビング、お風呂、トイレのみで個別に鍵がかかる寝室があったため、とても生活のしやすい環境だった。私の場合は、香港出身のルームメイトと休日にお互いの国の郷土料理を作って一緒に夕飯を食べるなど、積極的にコミュニケーションを取るよう心掛けていたが、用事のない時は部屋に皆引き籠りがちになってしまうことが多かった。国によって生活習慣が全く異なるため、入居した時に掃除の分担やキッチンの使い方など、ある程度ルールを共有しておくことが大切だと感じた。
留学先における交友関係	私は内気な性格もあって、普段は一緒に留学に行った日本人と行動することが多かった。ただ韓国、台湾、ベトナムの友人とは授業が終わった後に図書館で勉強をしたり、休日に出掛けたりするなど、一緒に過ごすこともあった。しかし、インターナショナルの学生の中でもアジア同士の交流はあるものの、ヨーロッパのコミュニティと交わることはほぼなく、国籍の壁を感じる場面が何度かあった。また、私の留学中の英語力ではネイティブの学生とコミュニケーションをとることは難しく、英語力の差がないインターナショナルの学生と過ごす時間がほとんどだった。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	私は有難いことに日本人の留学生在が周りにたくさんいたため、特に生活面で不便に感じることはなかった。しかし、日常会話ができるレベルの英語力と大学の授業で求められる英語力は全く別物であることを痛感した。講義では、その分野の専門用語が出てくるため、対面でのグループワークやディスカッションの時間に非常に苦労した。また、対面での試験では授業で学んだことを前提にあるトピックについて、自分の意見を英語で述べる記述式の出題が多く、テスト勉強に多くの時間を費やした。
留学先における学習、課題や試験	課題の形態は授業によって全く異なり、クイズ形式のものから毎週ディスカッションに参加したりリフレクションシートを提出したりする必要があるものまで様々だった。エッセイなどの記述式の課題では、提出をする前に大学のラーニングサポートセンターを利用し、内容や文法に誤りがないか、添削をしてもらうようにした。また、試験の形態も授業によって異なり、中には試験の代わりにプレゼンテーションを求められる授業もあった。試験期間は課題も増えるため、毎日図書館に通って勉強し、分からないことはオフィスアワーを利用して事前に教授に質問をするようにしていた。
大学外の活動（課外活動や自由時間など）	大学外では、積極的にボランティア活動や寮や大学主催のイベントに参加していた。ボランティアでは、地域の小学校での縁日のお手伝いや、地域清掃、ホームレスの子供たちに配給する食料の準備などに携わった。寮ではハロウィンなどの季節ごとのイベントや定期的に開かれる映画観賞会などに参加し、学生と交流する機会を得ることができた。また、現地で日本人を受け入れているホストの自宅に招待をもらい、アメリカでの一般的な家庭の生活や食文化を知ることができた。
留学を志す人へメッセージやアドバイス	私がこの留学を通して大きく反省したことは2つだ。1つは、留学前のTOEFLの勉強不足についてである。私はTOEFLのスコアが足りなかったことで、選べる大学の幅を自分から狭めてしまった。せっかく留学に行くのであれば、自分が学びたい環境に合った大学を選択し、より留学生生活を有意義なものにする

るためにも、一定以上の英語力を留学前に着けておく必要があると思う。2つ目は、英語を使うことを最後まで諦めないことである。留学中に一度は英語を話すことに疲れてしまうタイミングが訪れると思う。その際に、もし周りに日本人の友人がいるのであれば息抜きに日本語を話すことも大切だ。私の場合は、この期間に日本語を話すことの居心地の良さに気づき、自分から海外の友人やルームメイトとコミュニケーションを取ることを諦めてしまった。その結果、留学を通して半年間で英語力の向上を実感できなかった。最後まで英語を話そうという姿勢を忘れずに、後悔が残らないように留学を楽しむことが大切だと思う。